電子メールおよびWWWによる抄録投稿[実験]

日本解剖学会データベース委員会

ネットワーク経由の投稿に御協力ください。電子メールおよびWWW(World Wide Web)利用困難な方は、抄録データの入ったfloppy diskを持参ください。学会会場にて、そのデータを電子メールおよびWWW経由で送れるように用意致します。詳しくは、解剖学会ホームページ(仮) http://www.sapmed.ac.jp/jaa を御覧下さい。現在、学会雑誌用抄録および学術情報センターの学会発表データベース作成に関しては、紙による提出が正式のものです。電子メールによる投稿で、抄録もデータベースも両方作成できるかを実験・検討中です。

1. [投稿方法]

   (a) [**The Internet**の電子メールによる方法] データ作成要項に従ってfileを作成し、db-abst@sapmed.ac.jpまでお送り下さい。ほとんどの大学にInternetおよび学内LANが導入されてまいりましたので、電子メールの基本的な操作は各サイトのネットワーク管理者にお尋ねください。NetScapeなどWWWのbrowserからe-mailを送られても結構です。

   (b) [**Floppy Disk**による方法] 電子メールの場合と同様に、データ作成要項に従ってfileを作成し、DOSあるいはMacのformatの3.5 inch(2HD)のfloppyにcopyして、学会会場のインターネットの投稿受付までお持ち下さい。そこで電子メールとWWWによる投稿ができます。floppy diskにcopyするdataはTEXT(ASCII) fileでお願いいたします。

   (c) [日本解剖学会ホームページから] (別紙 :**WWW**による抄録投稿参照)

```
日本解剖学会 ホームページ ( http://www.sapmed.ac.jp/jaa )
    第 102 回日本解剖学会全国学術集会
    : 愛知医科大学  : 平成 9 年 3 月 26-28 日
      抄録投稿実験 < データベース委員会より >
          オンライン投稿 [実験] の手引 (受付期間 3/1 ~ 4/10 まで)
          受付開始までは試用期間と致しますのでお試し下さい。
ここを選択 ===> I. WWW から投稿
              II. e-mail による投稿 (従来の方法)
             JAA Proceedings Board
          オンライン抄録検索 [1993-97](Gopher)
          データベースからの印刷フォーム (PS/DVI/TeX file) の提供
```

- 電子投稿による一般的な注意を記述します。

  ・データの漢字コードはJIS codeでお願いします(the Internetでの約束)。

  ・半角カタカナは使わないで下さい。

  文字コードの変換方法は各machineに固有なので、各管理者にお尋ね下さい。システムによっては、自動的にJISに変換されるところがありますので、それを確かめる場合は、送付テスト用のaddress db-test@sapmed.ac.jpへお送りください(下記参照)。返送された日本語がうまく読めると文字コードは大丈夫です。受け付けしだい、自動的に登録番号が返送されます。電子メールで送付した抄録に訂正がある場合は、再度送り直して下さい。最も新しいものを採用します。

- 送付先

抄録提出	: db-abst@sapmed.ac.jp	質問	: db-quest@sapmed.ac.jp
Help file	: db-help@sapmed.ac.jp	送付テスト	: db-test@sapmed.ac.jp

送付テストは日本語で文字化けせずに e-mail が送受信できるかのテストで e-mail で送った data がそのまま送り返されます。

- 〆切 4 月 10 日 (3 月 1 日より受付開始します。)

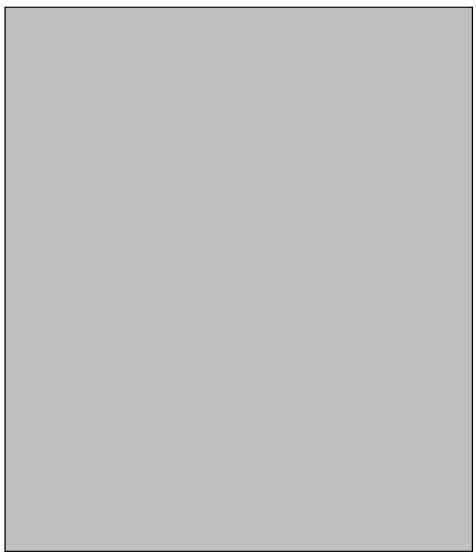
2. [データ作成要項 (format)]

##Begin から##End ではさまれた行がデータとして認識されます。それ以外の行は、無視されます。各項目を表すキーワードは行の先頭が#ではじまる単語です、以下にその例を示します。記入項目は著者用データシートの記入要領に準じますが、項目にーと同じとは入れずに全て type して下さい。さらに演題番号項目として#Z を加え記入して下さい。複数でない項目のキーワード (#Z,#A,#B,#D,#M,#N,#T) には数字は不要です。

- データ入力例

```
##Begin
#Z      1C23
#A      コンピュータによる診断的問題解決
#B      Diagnostic problem solving by computer
#E1     養老 / 孟司
#F1     ようろう / たけし
#G1     Yoroh / Takeshi
#J1     東京大学医学部解剖学講座
#K1     とうきょう だいがく いがくぶ かいぼうがく こうざ
#L1     Department of Anatomy, Faculty of Medicine, University of Tokyo
#E2     ... [第二著者 (和 :姓/名)]
#F2     ... [   (かな :姓/名)]
#G2     ... [   (English :姓/名)]
#J2     ... [所属 (和)]
#K2     ... [   (かな)]
#L2     ... [   (English)]
#D      和文抄録 (英単語を含む場合、改行で word が途中で切れないように ご注意下さい)
       ... (和文抄録の続き)
#M      中枢神経, 免疫組織化学, ミトコンドリア, 微細構造
#N      central nervous system, immunohistochemistry, mitochondria,
       ultrastructure
#T      英文抄録 (改行で word が途中で切れないように ご注意下さい)
       ... (英文抄録の続き)
##End
```

- 作成上の注意事項

上記の記述の中で、 #ではじまる文字列は、自動データベース化する際の目印なので、必ず行の先頭から書いてください。キーワードの後に、タブまたは空白 (複数でも良い) に続けてその 「値」を書く。 記述は、すべて、ASCII もしくは、JIS 漢字コードを用いて書くこと。但し、e-mail を送る時に JIS に変換しても構いません。外字を使わないで下さい。英文字、空白などは、すべて ASCII(半角) で、カタカナはすべて全角で書くこと。ただし、抄録 (和文) の中身については、全角の英文字、空白を用いてもよい。1 行の長さは、半角文字で 60 文字程度 (全角文字 1 文字は半角 2 文字に対応) に押えること。

問い合わせ先: 札幌医科大学 医学部 解剖学第一講座 辰巳 治之
電子メールアドレス: tatsumi@sapmed.ac.jp FAX:011-612-5861